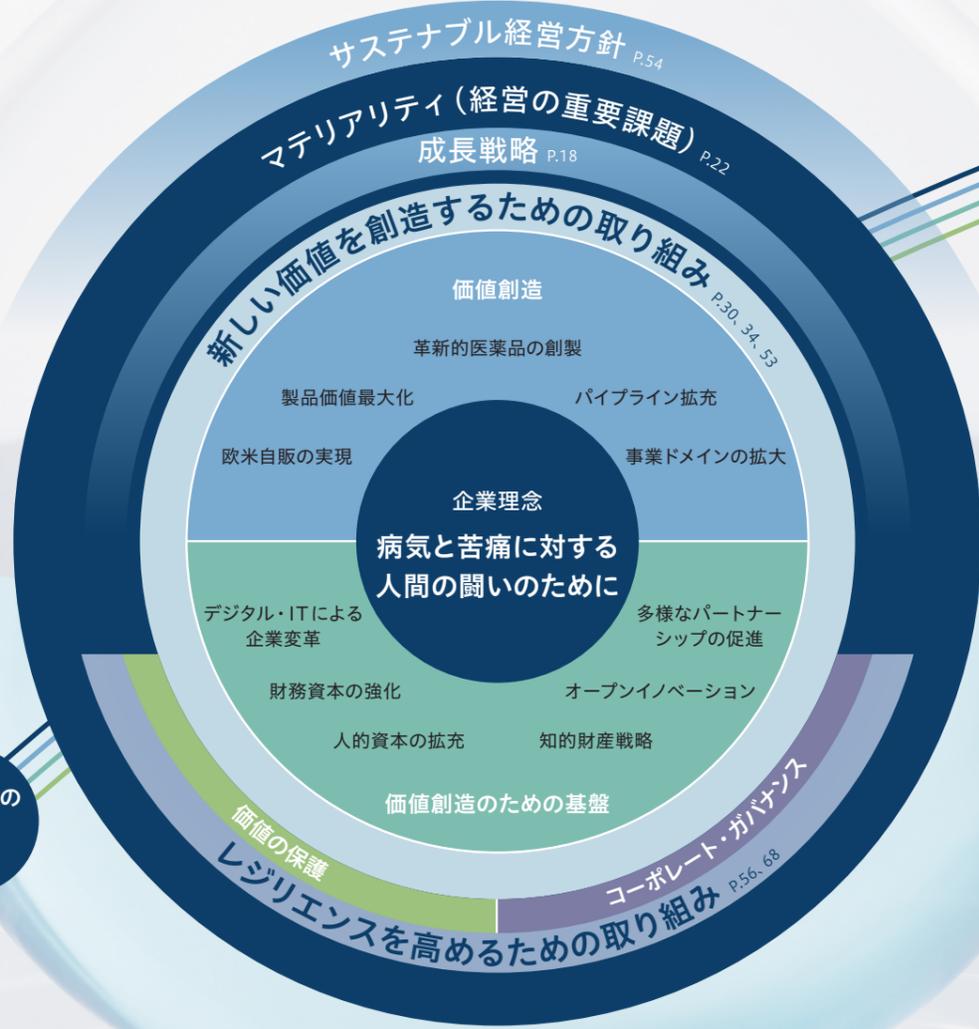


# 価値創造プロセス

小野薬品は、6つの資本の力と創薬事業で培ってきた強みを基盤とし、グローバルスペシャリティファーマとして、革新的な医薬品を世界に届け、人々の健康に貢献することを目指しています。真のグローバル企業を目指すことで、ステークホルダーと貢献領域の拡大を続け、持続可能な成長を実現していきます。



インパクト

グローバルスペシャリティ  
ファーマとして  
革新的な医薬品を  
世界に届け、  
人々の健康に貢献します

人々の健康への貢献

次世代への豊かな地球環境の保全

いきいきと活躍できる社会の実現

関連するSDGs



アウトカム

アウトプット

経済価値

- 安定的な収益、経済価値の増大
  - 1株当たり配当金：80円 (配当性向：30.0%)
  - TSR：5.1% (10年)

社会価値

- 革新的な医薬品の創製・提供
  - 新たに薬を届けた患者数：約97万人
  - 承認取得数：日本2承認
- 多様な人財の育成
  - 経営基盤を支える横断人財：延べ999人
  - 従業員満足度：エンゲージメントスコア69% (2022年度比+1ポイント)

環境価値

- 脱炭素社会の実現
  - 温室効果ガス排出量 2017年度比：46.2%削減 (2023年度)
  - 購入電力に占める再エネ利用率：42.5% (2023年度)
- 水循環社会の実現
  - 水資源使用量 2017年度比：41.6%削減 (2023年度)
- 資源循環社会の実現
  - 不要物の再資源化率：70.3% (2023年度)
- 生物多様性の維持・保全
  - TNFD賛同

主力製品

- オブジーボ点滴静注
  - ・がん
  - 1,455億円
- フォシーガ錠
  - ・糖尿病・慢性心不全・慢性腎臓病
  - 761億円
- オレンシア皮下注
  - ・関節リウマチ
  - 258億円
- グラクティブ錠
  - ・2型糖尿病
  - 212億円
- ベレキシブル錠
  - ・中枢神経系原発リンパ腫
  - ・マクログロブリン血症およびリンパ形質細胞リンパ腫
  - 102億円
- カイプロリス点滴静注用
  - ・多発性骨髄腫
  - 91億円
- パーサビブ静注透析用
  - ・二次性副甲状腺機能亢進症
  - 82億円
- オンジェンティス錠
  - ・パーキンソン病
  - 63億円



オブジーボとフォシーガ

小野薬品の強み P.04, 28

インプット

財務資本

- 資本合計：7,986億円
- 親会社所有者持分比率：86.8%

人的資本

- 連結従業員数：3,853人
- 社員1人当たりの研修時間：64.5時間
- 健康経営の推進による健康年齢と実年齢の差-1.8歳
- 従業員満足度：エンゲージメントスコア69% (2023年度)

知的資本

- 研究開発費：1,122億円
- 研究開発費対売上収益比率：22.3%
- 開発パイプライン
  - 2023年度 臨床開発段階の品目数：20
  - 2018-2023年度 新製品・適応取得：26件
- Ono Venture Investment, Inc., 新薬の創製に関するバイオベンチャーへの投資：11社実施 (2024年3月末)

社会・関係資本

- 研究・創業提携：国内外約280件
- 共創パートナー：創業提携、13件 (2023年度)
- 関係会社：国内外27社

製造資本

- 設備投資額：65億円
- 生産拠点：2拠点

自然資本

- エネルギー使用量：82,666MWh
- 水資源使用量 (取水量)：189.9千m<sup>3</sup>

ステークホルダーと共に価値を生み出す